

フレックスパイル[®] FP-Z型

鋼矢板用可撓継手

国土交通省 新技術情報提供システム
NETIS登録番号 KT-030049-V (掲載終了)



堤防の不等沈下等の変位吸収と負の周面摩擦力の影響を遮断する目的で鋼矢板用可とう継手を設けるよう構造技術基準が定められており、フレックスパイルは全国の樋門、樋管水門、護岸工事に幅広く採用されています。

フレックスパイルFP-Z型は従来のFP型を改良し、工事のコスト縮減に貢献できる画期的な継手です。

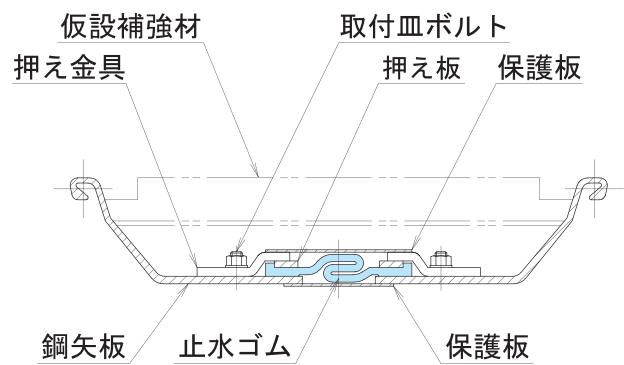
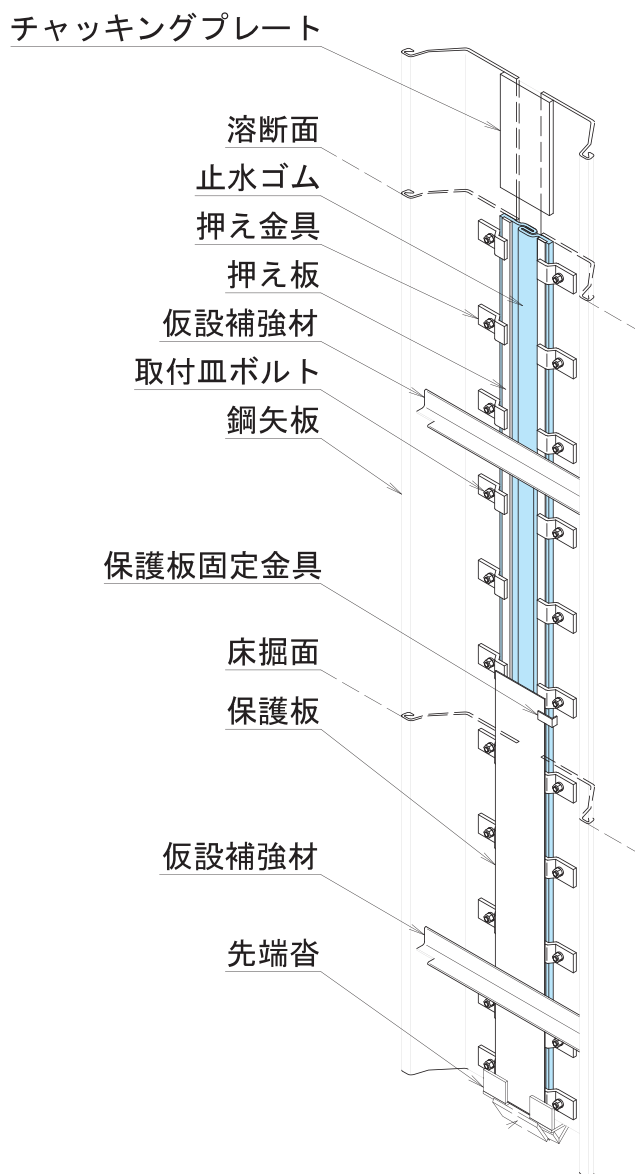


西武ポリマ化成株式会社

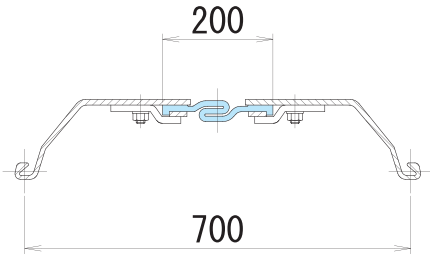
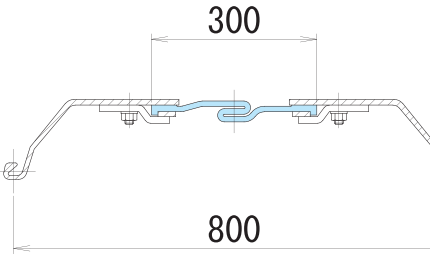
特 長

- (1) 打ち込み断面積が小さく、硬い地盤でも打ち込みやすい。
- (2) 鋼矢板用定規が使用でき、作業の正確性、迅速性が向上。
- (3) 先端沓、保護板の撤去作業と撤去後の砂詰め作業がなく、工事時間が短縮。
- (4) 変位（沈下、伸び、縮み）に対する止水ゴムの反力（変位抵抗）が小さい。

構 造



品 種

| 品 種 | | FP100ZW型 | FP200ZW型 |
|------|---------|---|--|
| 断面構造 | |  |  |
| 性能 | 沈下量(mm) | 100 | 200 |
| | 伸び量(mm) | 100 | 150 |
| | 縮み量(mm) | 60 | 150 |

※上記断面図はIIW型

ハット型鋼矢板対応のフレックスパイルFP-ZH型については
弊社ホームページをご確認ください。



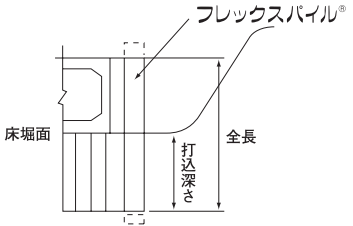
西武ポリマHP

ゴム物性規格

| 試験項目 | 引張試験 | | 硬さ タイプA | 老化試験(70°C×96時間) | | |
|------|-------------|---------|--------------|-----------------|------------|-------|
| | 引張強さ MPa | 伸び % | | 引張強さ 変化率% | 伸び変化率 % | 硬さの変化 |
| 規格値 | 14.7以上 | 350以上 | 65±5 | -15以内 | ±40以内 | 0~+15 |
| 試験方法 | JIS K 6251 | | JIS K 6253-3 | JIS K 6257 | | |

設計仕様

フレックスパイルFP-Z型をご検討の際は、下記項目をご提示願います。

| | | |
|----------|--|---|
| ①ユーザー名 | |  |
| ②工事名 | | |
| ③用途 | 1)樋門 2)水門 3)その他 () | |
| ④土質 | N値 | |
| ⑤補助工法 | 有り () ・ 無し | |
| ⑥鋼矢板種類 | U型鋼矢板 II型、IIW型、III型、IIIW型、IV型、IVW型、VL型、その他 | |
| ⑦矢板長×打込長 | m × m | |

※仕様条件が表中の変位性能値を超える場合、用途が護岸の場合はご相談ください。

樋門埋設部が掘削され、遮水工鋼矢板の樋門底版部から水平方向に延長される樋門本体用鋼矢板が打ち込まれた時点でフレックスパイルFP-Z型を打設します。本体上部に取り付けられたチャッキングプレートを挟み、バイブロハンマーで打ち込みます。

- (1) 一般鋼矢板と同様に定規が使用できますので、定規に添わせて建て込んでください。なお、引き起こし時に先端沓を引きずらないように、上部をクレーン操作で移動しながら吊り上げてください。

(注) 地質、N値により補助工法（ウォータージェットカッター併用、オーガー併用）が必要になります。砂質でN値 20 以上、粘土質でN値 30 以上が目安です。

- (2) 一番下部にある仮設補強材を切断除去します。

- (3) バイブロハンマーでチャッキングプレートを挿み、所定深さまで打ち込みます。

(注) 固い地盤に打ち込む場合に、鋼矢板のセクションが焼き付く恐れがありますので、セクション部の変色に十分注意して打設してください。

- (4) フレックスパイルFP-Z型打ち込み後、継手の初期寸法を確保するために水平方向の鋼矢板を2枚以上打ち込みます。

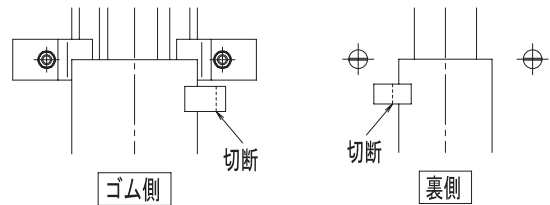
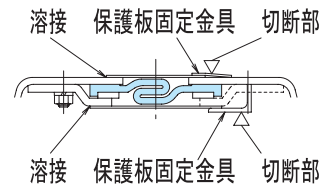
- (5) 保護板の上部固定金具を切断します(右図)。

- (6) 床堀面より上にある仮設補強材を全て切断除去します。

(注) (5)と(6)の作業は同時に行ってください。

- (7) 一般鋼矢板の天端まで埋め戻した時点でチャッキングプレートを切断除去してください。

(注) 埋め戻し作業の際に本体に異常変形を加えたり、止水ゴムに傷を付けないよう注意をしてください。



先端沓と保護板は本体部に仮溶接されており、将来の地盤の変位で切断する強度で設計しているため、施工時に離脱させる必要がありません。

※製品の形状・寸法は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

代理店



JQA-QM4493



西武ポリマ化成株式会社

| | | | | |
|--------|-----------|--------------------|-----------------|------------------|
| 本社 | 〒103-0027 | 東京都中央区日本橋 3-8-2 | 電話(03)3527-9814 | FAX(03)3527-9828 |
| 大阪支店 | 〒542-0081 | 大阪市中央区南船場 4-6-10 | 電話(06)6252-8381 | FAX(06)6252-0891 |
| 名古屋支店 | 〒483-8145 | 愛知県江南市小郷町西ノ山 55 | 電話(0587)54-2136 | FAX(0587)54-2175 |
| 九州営業所 | 〒812-0013 | 福岡市博多区博多駅東 1-14-34 | 電話(092)441-8595 | FAX(092)481-0774 |
| 北海道営業所 | 〒060-0062 | 札幌市中央区南二条西 6-12-1 | 電話(011)219-3020 | FAX(011)219-3022 |
| 名古屋工場 | 〒483-8145 | 愛知県江南市小郷町西ノ山 55 | 電話(0587)54-2111 | FAX(0587)54-2124 |

ホームページアドレス <https://www.seibu-p.co.jp/>

1110 23.11 BX MS